

平成27年1月29日

東京都福生市長

加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査員 田中俊朗

副代表監査員 向出香苗

齋藤 功

小澤はる奈

## 環境監査報告書

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の平成26年度監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 日時  
平成27年1月27日（火）～29日（木）

2. 監査対象
- |        |                 |
|--------|-----------------|
| 本庁舎    | 16 実行部門         |
| 市民利用施設 | 4 実行部門          |
| 供給処理施設 | 1 実行部門          |
| 医療福祉施設 | 1 実行部門          |
| 教育施設   | 4 実行部門          |
| 指定管理施設 | 2 実行部門          |
| 計      | 28 実行部門および推進委員会 |

※監査計画書では29 実行部門ですが1 実行部門について急遽監査対応不可となりました。

### 3. 監査結果集計

設問	項目	視点	高評価	改善要望	アドベイス
1	環境配慮行動の工夫	(目視チェック)	0	0	0
2	環境配慮行動の工夫	エネルギー、水、紙、ごみの無駄を省くため、仕事の進め方・動き方自体の効率化や改善を図った実績や姿勢が見られるか	3	0	1
3	環境配慮行動の工夫	担当業務の性質と関連づけて環境への影響をとらえ、個人としてあるいは職場として取り組みを向上させる視点・意欲があるか	1	0	1
4	施設利用者等への呼びかけ	外部団体やボランティアも活動の中で環境配慮が定着するように促す取り組みをしているか	0	0	0
5	施設利用者等への呼びかけ	事業者や施設利用者も活動の中で環境配慮が定着するように促しているか	0	0	0
6	数値目標の管理	環境負荷データの分析、問題点の発見や課題解決への視点・姿勢が見られるか	0	0	0
7	数値目標の管理	数値目標と業務量や職場環境の関連を意識しているか	0	0	1
8	数値目標の管理	環境負荷データ、結果の分析を職場内で共有し、職員個人の役割を自覚しているか	1	0	0
9	再エネ・省エネ設備の導入	省エネ型設備、新エネルギー設備について積極的に検討されたか	0	0	0
10	施設のエネルギー管理	施設のエネルギー使用状況を把握し、データに基づく対策を検討しているか(検討のための阻害要因は何か)	1	0	0
11	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか	4	0	0
12	市民参加・協働の促進	外部団体の協力を得ることで、広がりのある活動を実施する意識があるか(気づきを得られるか)	0	0	0
13	環境学習の推進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか(学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか)	(4)	0	1
14	その他	自由 PR	3	0	0
15	推進組織の役割・責任	部の所管業務と環境への影響の関連をとらえ、その部ならではの環境改善の方向性を描けているか	0	0	3
16	推進組織の役割・責任	環境推進委員会に主体性を持って関わっているか/市の環境に関わる課題などについて自身の考えを持っているか	0	0	0
17	環境マネジメントの評価・展望	(市長)市の環境の現状をどのように認識し、これまでの取り組みを踏まえてどのような展望を持っているか	0	0	0
18	環境マネジメントの評価・展望	(市長)環境活動を市全体へ広げていくために、どのような展望を持っているか	0	0	0
19	推進組織の役割・責任	(副市長)環境マネジメントの成果をどう認識し、今後どのように展開したいと考えているか	0	0	0
20	推進組織の役割・責任	(副市長)省エネ型設備への切り替えなど、予算措置をともなった環境対策についてどのように考えているか	0	0	0
21	推進組織の役割・責任	(教育長)各校の環境学習を維持・拡大するため、行政としての支援体制、予算措置などについてどのような方針を持っているか	0	0	1
22	推進組織の役割・責任	(教育長)地域住民などがもつマンパワー、専門知識を活かした環境学習の充実についてどのような方針を持っているか	0	0	0
合 計			13	0	8

※高評価のうち4項目は、設問 11 と設問 13 の両方で評価されたため、事例数としては合計 13 になる

#### 4. 総合所見

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の平成 26 年度取り組み状況監査を実施しました。その結果と所見は以下のとおりです。

##### （1）監査手法等の変更について

平成 20 年度から続いた LAS-E（環境自治体スタンダード）の取り組みを基盤として、市独自の新たな仕組みである F-e（福生市環境マネジメントシステム）の運用が始まりました。これに伴い、監査および監査結果のとりまとめ方法を改善しました。

###### ①評価方法の変更

従来の◎○△×による 4 段階評価を廃止し、設問ごとに「特に高く評価したい点」と「改善・修正を検討していただきたい点」を抽出しました。また、監査チーム全体による評価から、監査を担当した班ごとの結果整理に変更しました。監査員が現場で得た発見や感銘を直截的に被監査部署に伝えるように配慮したものです。

###### ②監査の視点の明確化

今回の監査では、上記の高評価・要改善ポイントを抽出することに加えて以下の 2 点を重点ポイントとして設定し、監査に臨みました。

- ・取り組みを改善するためのアドバイスをすること
- ・全庁的に水平展開するのが望ましい取り組みを発掘すること

監査結果をシステムの改善により直接的に結びつけることを意図したものです。水平展開する取り組みについては、全庁統一的なルールとして適用できるかを環境マネージャー会議で検討し、可能なものは平成 27 年度の取り組みに反映する予定です。

##### （2）監査結果

設問ごとの評価においては「改善・修正を検討していただきたい点」は 1 つもなく、過去 6 年間の取り組みが弛まず継続されていることが確認されました。その反面、新たな工夫を実践することに苦心している職場もありますが、その中で「特に高く評価したい点」として抽出された取り組みは 13 に上りました。

今年度の優良事例の特徴として、所管事務の進め方を改善したことが結果的に環境負荷の削減にも寄与している取り組みが複数見られました。取り組み内容自体は職場の独自性が高いものでも、業務の効率化を図ることが環境配慮に繋がるという視点の持ち方は、あらゆる職場で参考になるのではないのでしょうか。

特に小学校における環境教育の取り組みでは、PTA や地域住民が主導する活動が数多く展開されており、身近な自然環境や人材を活かした質の高い環境教育が実施されています。学校を核とした環境教育をさらにレベルアップするため、各校の取り組みを教員同士で共有する場や、子どもたちが市民に向けて発表する機会を設けることを検討していただきたいと思います。

##### （3）今後に向けて

今回の監査は、実行部門と監査チームがシステムの改善に向けて一緒に考えることを重視して実施しました。その結果、多数の優良事例と水平展開のアイデアが発掘されました。これらの内容を吟味し、可能な限り統一ルールとして共通化する、あるいは取り組み手法や視点をしっかりと共有する仕組みを整えることで、取り組みの底上げと継続を確実に図っていただきたいと思います。

設問ごとの評価において改善や修正が必要との評価はありませんでしたが、検討していただきたい課題や提案がありました。特に、昨年度からの指摘事項である、環境推進委員会の機能強化については、確認できませんでした。環境推進委員会が、最高意思決定機関に相応しい議論の場となるよう対策をお願いします。

また、市民への発信・波及も新たなシステムでは重要視される場所です。これを機に、市民協働の意義や手法について、各職場で再考されてはいかがでしょうか。各職場の業務の中で市民とどう関わっているのか、その中で市民の環境への気づきや行動をどう喚起できるかを追求し実践することで、F-e の真価が発揮されるものと考えます。

## 5. 監査チームからの提言

今年度監査対象となった各実行部門における取り組みのうち、全庁的に水平展開することが望ましいと考える取り組みを以下に記します。また、監査チームミーティングで提案されたアドバイスも記載します。水平展開の可能性について検討してください。

実行部門名 ／項目内容	取組内容
市民会館	今年度指定管理者が変わりました。設備は老朽化していますが、機器類の調査を行い運転方法を変更しました。電気・ガスの削減効果があり、使用量が半減した結果が出ています。間もなく一年間の結果が出ます。取り組んだ方法や結果の報告を予定しています。また、現在より効果を出すために遠隔操作管理を試験運用して更なる改善に取り組まれています。大きな効果が期待できます。
中央図書館	毎日発行されている「今日の館長予定表（職員のシフト表）」に毎日異なる F・e に関する環境標語を記載することで、分館と情報を共有されており、環境の啓発に有効だと思います。
物品の在庫管理	用紙類の保管は、在庫状況の可視化が有効です。透明の箱に入れて保管しておき、保管箱にはそこまで減ったら発注する目安となる発注点を明記しておくことで、過剰在庫や誤発注を防ぐことができます。
施設のエネルギー管理	設備更新の結果、エネルギー消費量が増えてしまったということもあるようです。新設備の導入効果を検証して各施設管理者の間で共有することが必要ではないでしょうか。
職場研修	職場研修として定期的に行う責任者または職員が環境に関する発表をしている職場が多いようですが、その場限りとせず、発表などで出された重要なテーマやキーワードを記録し、職場内に掲示するなどして意識定着を図ってはどうでしょうか。
学習の機会	環境フェスティバル（6月）は、見学に来るだけでも学習機会になるので、来場されることをお勧めしたいです。 市民対象の環境学習講座を職員の方も受講されてはいかがでしょうか。環境について幅広くしっかり学ぶことができます。
環境教育	（教育委員会へ）各学校の環境教育の取り組みを交流する場を設けてはいかがでしょうか。教員同士の交流も、子どもたちが参加して交流の中で学ぶことも必要だと思います。学校側のニーズもあるようです。
環境推進委員会の役割	環境推進委員会では、各職場の優れた取り組みなどに関する情報をきちんと共有し、各部に水平展開するための場として機能していただきたいと思っています。
市民へのアピール、波及	市民利用施設では、冷暖房の設定温度について苦情が出されることもあり、窓口では対応に苦慮しているようです。市全体で環境配慮に取り組んでいることを理解してもらえるように説明することも重要ですが、施設の状況によってルールを柔軟に運用しても良いことを各施設に知らせ、無理なく続けるようにしていただきたいと思っています。 本庁舎だけでなく、市民が多く利用する外部施設でも女性用トイレに水洗擬音装置を設置することを検討できないでしょうか。 本庁舎には節電のお願いチラシが契約管財課の名義になっています。契約管財課だけでなく、F・e の取り組みであることを併記してはいかがでしょうか。目につく機会が多ければ、市民の関心を少しでも引き出すことに繋がると思います。 監査期間中に「F・e 監査中」との貼り紙をして来庁者の注意を引くことも、アピールの一つになります。 環境フェスティバルに市の環境配慮の取り組みをパネル展示するなど、ブースを出展してはいかがでしょうか。

## 6. 監査項目ごとの所見

監査担当班において「特に高く評価したい点」または「改善・修正を検討されたい点」および「アドバイス」を整理した結果を、監査項目ごとに記述します(特記事項のない項目を除く)。

今回の監査では「改善・修正を検討されたい」として指摘した項目はありませんでしたが、監査担当班よりアドバイスが提案された職場では、その実施可能性についてご検討ください。また「特に高く評価したい点」について他職場でも応用可能なものは実施をご検討ください。

↓質問番号 ↓質問内容 ↓監査の視点

2	環境配慮行動の工夫	エネルギー、水、紙、ごみの無駄を省くため、仕事の進め方・動き方自体の効率化や改善を図った実績や姿勢が見られるか
---	-----------	---

### ◆特に高く評価したい点

西多摩地区の課税課で連携し、税務署に扶養調査電子化の要望書を提出し、実現したことで、大幅な紙の削減となったことは、優れた業務努力だと思います。

担当：3班

(課税課)

目標達成のための努力に感心しました。伝票指示書を鉛筆書きにし、処理が終わったものを消して再使用されています。その鉛筆も国勢調査時に使用した余剰品を用い、鉛筆代としての費用を発生させていません。

担当：1班

(会計課)

- ①LAS-E 時代からの小さなことの積重ねを行い、業務に活かしています。
- ②足元の冷え対策に、職員手作りの膝かけをつくり、利用しています。
- ③消耗品管理シートを作成し、データ管理しています。
- ④毎月10日の交通安全確認の日に、F-eに関する話(個人的に実施していること等)をしており、その記録を残しています。
- ⑤窓のルーバを利用し太陽光を取り入れ、空調を抑制しています。

担当：2班

(監査委員会事務局)

### ◆アドバイス

新たな取組は見いだせないとのことですが、毎月、F-eハンドブックに書かれている取組を確認し、徹底することで環境に配慮した行動の向上につながります。

担当：3班

(子育て支援課)

3	環境配慮行動の工夫	担当業務の性質と関連づけて環境への影響をとらえ、個人としてあるいは職場として取り組みを向上させる視点・意欲があるか
---	-----------	---

### ◆特に高く評価したい点

ESD 行動を職員自ら学んでいます。

担当：3班

(松林会館)

### ◆アドバイス

毎月の安全確認の日に、環境についての発表の記録を取り、良かった目標やスローガンを各自のPCで確認できるようにしたらいかがでしょうか。

担当：3班

(社会福祉課)

7	数値目標の管理	数値目標と業務量や職場環境の関連を意識しているか
---	---------	--------------------------

### ◆アドバイス

会議室にF-eの関係資料が掲示してありました。昨年度の取組み(LAS-E)の表が掲示されていたので、今年度(F-e)の取組みの物に更新してはいかがでしょうか。

担当：1班

(会計課)

8	数値目標の管理	環境負荷データ、結果の分析を職場内で共有し、職員個人の役割を自覚しているか
---	---------	---------------------------------------

◆特に高く評価したい点

電気、水道使用等の使用量を、毎日夕方6時に検針記録をつけて、確認をしています。毎日数字を確認することで、異常の発見と対処が迅速にできています。

(松林会館)

10	施設のエネルギー管理	施設のエネルギー使用状況を把握し、データに基づく対策を検討しているか(検討のための阻害要因は何か)
----	------------	---

◆特に高く評価したい点

今年度指定管理者が変わりました。設備は老朽化していますが、機器類の調査を行い運転方法を変更しました。電気・ガスの削減効果があり、使用量が半減した結果が出ています。間もなく一年間の結果が出ます。取り組んだ方法や結果の報告を予定しています。また、現在より効果を出すために遠隔操作管理を試験運用して更なる改善に取り組まれています。大きな効果が期待できます。

(市民会館)

11	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか
13	環境学習の推進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか(学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか)

◆特に高く評価したい点

2学期が始まる前に、通学路のごみを拾って登校する新たなる取り組みを、児童だけではなく、教員・保護者を含めて実施し、学校周辺の環境整備に努めていたことを評価します。(校長先生の発案)  
この活動は地域との協働の広がりとしても期待されます。

(福生第二小学校)

「4小ファンクラブ」は、地域住民の主導で、10年の活動を続けています。周辺の歴史、酒蔵、上水、多摩川の自然を学習するなどの活動が根づいています。  
自然環境アカデミー、市OB、理科教員OBなどの人材が活動しています。このような活動に対し、今年度東京都から「ふれあい感謝状21」の表彰を受けています。

(福生第四小学校)

地域の人材(スキルを持った人や、老人会等)の参画を得て、協働して子どもの環境学習を行い、育成しています。  
ぜひ、子どもたちによる活動の発表会を行う等、各学校の交流につなげていただきたいと思います。

(福生第六小学校)

子ども主体の環境委員会があり、エコキャップ運動や花いっぱい運動に取り組んでいます。  
地域とPTAからの発案で、「美華クラブ」が立ち上がり、通学路であるせせらぎ通りや歩道橋等の近隣の清掃や美化活動をされています。

(福生第七小学校)

◆アドバイス

エコキャップの回収事業において、全学年で行っているが、低学年に対しては、この事業の流れをもっとわかりやすく指導する工夫に取り組んでいただきたいと思います。例えば、高学年からこの仕組みを低学年に教える方法も良いと思います。

(福生第四小学校)

14	その他	自由 PR
----	-----	-------

◆特に高く評価したい点

他市との広報担当課長会にて「私の便利帳」をタウンページに掲載できるという情報を得てすぐに対応し作成、今年度発行しました。これにより紙と予算の削減が図られました。

(秘書広報課)

毎日発行されている「今日の館長予定表（職員のシフト表）」に毎日異なる F-e に関する環境標語を記載することで、分館と情報を共有されており、環境の啓発に有効だと思います。

(中央図書館)

新人職員教育を兼ねてマニュアルを理解した上で、とても分かりやすい独自の F-e 取組みポスターを作成し、掲示していました。このことから市民及び職員の意識向上に繋がっていると思われま。

(武蔵野台図書館)

15	推進組織の役割・責任	部の所管業務と環境への影響の関連をとらえ、その部ならではの環境改善の方向性を描いているか
----	------------	--

◆アドバイス

用紙使用からデジタル化（タブレット）への推進も良いのではないのでしょうか。

(議会事務局長)

高齢者は、ごみの分別に対応が困難であるとの話がありましたが、福祉だけで対応が困難なものは、所管の部署に情報を提供するなどして、市全体として市民サービスの向上に努めてほしいと思います。

(福祉保健部長)

職員のアイデアで改善したことは、その事例をみんなの前で紹介して、顕彰してください。

(市民部長)

21	推進組織の役割・責任	各校の環境学習を維持・拡大するため、行政としての支援体制、予算措置などについてどのような方針を持っているか
----	------------	---

◆アドバイス

市内小中学校が取組みや情報を共有できる場（子どもの発表会等）を設けられると、より一層環境学習への子どものモチベーションが上がり、レベルアップが期待できます。

(教育長)

(添付資料)

- ・ 監査対象一覧
- ・ 監査員名簿